
3HEROS ~交差する三つの物語~

未元定規

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

3HEROS ～交差する三つの物語～

【Zコード】

Z9268Z

【作者名】

未元定規

【あらすじ】

『死者が蘇る』、『ドッペルゲンガー』、『鏡の中の怪物』――そして、『仮面ライダー』。この町は不思議に満ちている。でも俺は、そんな物には一生関わらないであろう――そう思っていた。でも現実は違った。俺たちの気づかない場所で、物語は進んでいたんだ――進行はMOVE大戦式章ごとです。

プロローグ　—夢—（前書き）

初めまして、未元定規です。

しばらく前に「デルタ」を投稿しましたが、設定変わりました

なので、いつそもう連載始めます。

それでは、スタート。

プロローグ　—夢—

―――世界は無限に広がっている。

しかし、世界は広いようで、意外と狭い。例えば世界には同じ顔をした人間が三人は居るというが、この町だけで自分と同じ姿を見たという人が居るらしい。都市伝説だが。パラレルワールド平行世界なんて定義もあるが、それはこの物語を語るのにはあまり必要では無いだろう。

だから、小説やアニメなどの導入でよくある物の一つ、ある日常然日常が崩れさつて、な展開は意外に自分のすぐ隣にあるかもしない。それでもそんな機会が無く一生を過ごす者が多いのは、運が良いのと、灯台下暗しという物であろう。いつもの日常と違う事があっても大して気にしなかつたり、人間はそれを自分の知識で認識した物を片づけようとする。物事を何かに例えるのもその一種だ。

つまり、運が無く、周りに敏感で、自分の知識で片づけられない事が起きたらそこで日常は終わるのだろう。

――――――

「…………うん、」

少年が目を覚ますと、そこには見知った自分の部屋のベッドの上。見慣れた天井が目に入ってきて、数秒間思考を停止させた後、ゆっくりと体を起こす。

魔うなされていたのか、着ている物は汗でぐっしょりと濡れている。

「また、か……」

はあ、と溜息をつき、汗まみれの体に不快感を示しながら、額に手をやる。すると、頬に涙が垂れているのに気づき、枕元のタオルで拭う。

こんな不良にしか見えないような自分が夢で泣いていたら変な光景なんだろうな、と自虐気味に笑い、鏡を見る。

そこにはいつもと変わらない、青み掛かった髪、目つきの悪い双眸をした自分の姿があった。

いつなつてしまつのも、全部近頃見る変な『夢』のせいだ。

一週間ほど前からみており、内容は全く思い出せないが、何故だかとても悲しく、物苦しい夢だという事は覚えている。

まるでアニメか小説か何かのブログみたいだなーー不思議な夢を見る主人公はある日突然、日常が壊れ、戦いの日々が始まるーーまあ、そんな物は御免被りたいが。そういえば、記憶喪失で捻くれている性格の主人公の世界が崩壊し、世界を救う旅に出るーーみたいな内容の小説のタイトルは何だつただろ?つか。

そんな意味不明な夢にももう慣れてしまった。そもそも、内容も分からぬ夢に慣れた、というのもおかしな話だとは思うが。

自分の変な適応能力に嫌気が差しながらも、結局は大して気にしない自分の神経の図太さにも感心してしまつ。慣れというのは本当に怖い物だ。

そのままベッドから降りて立ち上がり、そのまま歩いてカーテンを勢よく開ける。

差し込んでくる日光を全身に浴び、伸びながら口を開ける。そこにはいつもと変わらない町並みが広がっていた。たかが自分程度の人間に何か問題があつてもこの世界は機能する。そう考えるとなんだか悲しくもなつてはくるが。

時計を見るといい時間になつてはいる。そろそろ着替えるとするか。

ぼんやりと鏡を見ながら自分の通う虹陵館学園の制服を着る。赤を基調としたカラーーリングで、女子からは人気がある。男子は『顔が良い奴が着れば』カッコよく見えるのではないだろうか。知り合いにはそんな奴は居ないが。ホスト崩れのような姿の『本物の不良』と、カッコ良いよりは女子には「可愛い」と称される奴しか。間違つても自分は顔が良いと思う人間は居ないだろう。

俺、不条龍一の一 日は、今日も始まる。

プロローグ　—夢—（後書き）

明日は二つ目投稿。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9268z/>

3HEROS ~交差する三つの物語~

2011年12月28日23時45分発行